

なんでも相談室

224回

齋藤寂靜
(尼僧)



「命の違い」

7歳の娘から家で飼っている犬と食卓に出される魚の「命」の違いについて質問されました。「どっちも同じ命なのに、大事にされるほうと、食べられてしまうほうがあるのはなんで？ 犬も魚もどっちも同じ大切な一つの命じゃないの？」と言われ、返す言葉が見つかりませんでした。どのように説明したら子どもが納得してくれるか、良きアドバイスをください。

(30代男性)

7歳にして命への着眼は素晴らしい。すべての命には限りがあることを自然の中で認識するチャンスで、そのなかで自分の命を大切にすることを学んでほしい。自分の命は自分の物だけれど、他の人を幸せにするためのもの。お魚を食べた人はお魚の命をもらって元気になるし、犬は家族を楽しませ家族に幸せを与えている。命の長さはそれぞれに決められていることだから、短くても誰かを幸せにする命って素晴らしい。

仕事、恋愛、人間関係、いじめ…、どんな些細な悩みにも齋藤寂靜さんがお答えします。性別と年齢のみで匿名可です。郵送メール、FAXでご相談をお寄せください。